

学校教育目標 (一人一人を大切にする小栗栖教育の推進)

確かな学力

豊かな心

健やかな体

めざす子ども像(おぐりすっ子行動目標)

- お … お互いを大切にする子になろう
- ぐ … グループ活動をがんばる子になろう
- り … リズムある生活をする子になろう
- す … すすんで学習する子になろう

学校経営方針

最重点課題

将来に夢をもち、なりたい自分になるために

- ・確かな学力の育成
- ・ライフスキル能力の育成

全校的な組織体制の中で徹底した取組

- ・強い意志と情熱
- ・意識改革と創意工夫
- ・教職員の適性、専門性を生かす
- ・有機的に連携して

学力向上プラン

- * 確かな学力を育成するために
- ・ことばの力の育成
- ・授業改善・指導力向上
(小栗栖スタンダード)
- ・習熟度別少人数指導、TT
- ・ICTの活用(学習クラブ等)
- * 基礎学力の確立
- ・帯時間の指導の徹底
(読書、計算、漢字)
- ・ジョイプロ、学力調査、校内検定
- ・家庭学習の確立
- ・放課後まなび教室、土曜教室
- ・チームによる支援体制
- ・学習成果によって自尊感情を高める
- ・言語活動の充実、コミュニケーション能力の育成

学校教育の今日的課題

- ・言語活動の充実
- ・情報教育の充実
- ・伝統文化、国際理解教育の充実
- ・生き方探求教育(キャリア教育)の充実
- ・環境教育の充実
- ・理数教育の充実
- ・小中一貫教育の推進
- ・総合育成支援教育の充実

人権文化構築プラン

- * 多文化共生をめざして
- * 違いを豊かに生かし、豊かに共生する心を育む
- ・外国につながる児童に焦点
- ・JSLカリキュラムの考え方
- ・日本語教室の取組
- ・多文化学習推進プログラム
- ・保護者、地域への発信

- ・学校全体が日本語教室、全教員が日本語指導の教師

児童の実態

厳しい生活実態

- ・自尊感情が低い
- ・生活経験が乏しい
- ・家庭の教育力が低い
- ・大人の支援が不十分
- ・生活習慣が定着していない
- ・外国にルーツをもつ児童は、ことばの壁

素直で人懐っこく、何事にも興味関心

生活向上プラン

- 子どもの健康自立をめざして
- ・自分の生活を振り返る(おぐりすっこリサーチ)
- ・総合的な学習の時間の学習として
- ・理想の生活について調べる
(排便、歯の健康、朝ご飯、早寝早起き)
- ・発足式、発表会
- ・ゲストティーチャーから学ぶ
- ・自分たちがができることで生活をステップアップ
(生活向上メニュー)
- ・自ら主体的に考えて実践することで、生活習慣に対する意識改革を図る

組織対応の支援教育プラン

- * 問題の早期対応と未然防止の生徒指導
- ・一人で抱え込まない体制づくり(チームで対応)
- ・子どもの背景にまで踏み込んだ見取り
(ケース会議…アセスメントとプランニング)
- ・意識改革(「困った子」が「困っている子」)
- ・研修の充実
- ・全教職員が同じ価値観で子どもの対応に当たる
- ・子どもの見方を磨きあう。
- * 規範意識の育成
- ・挨拶の徹底、丁寧な言葉、学習規律、清掃活動等に重点

- ・「抱え込み」から「チーム対応」への組織改革
- ・「困った子」から「困っている子」への意識改革
- ・NPO法人や学生との連携

小中連携等

家庭・地域との連携

放課後まなび教室との連携

連携